

# ごのへ議会だより

Gonohe Assembly News

## 第15回定例会(令和7年12月定例会)

第14回臨時会・第15回定例会	2	一般質問(4人)	4
県外行政調査研修	8	所管事務調査	9
五戸中学校出前意見交換会	10	川内中学校議会傍聴	11
議員活動報告・編集後記	12		

議会広報  
令和8年1月  
第58号



ひばりこども園

五戸の未来シリーズ⑦  
ひばりこども園  
(つる組11名)



©東京ハイジ/五戸町



町内の保育園・幼稚園のご協力を得て  
連載している五戸の未来シリーズ。  
今回は「ひばりこども園」さん。  
今号にて町内の保育園・幼稚園は全て  
紹介となりましたが、次号からも引き  
続き町の未来を担う子どもたちを紹介  
していきたいと思います！

## 第14回 令和7年11月 臨時会

11月5日に1日間の会期で臨時会が開催されました。

議決件数 2件			
原案可決	同意	承認	認定
2件	0件	0件	0件

### 町長提出案件

工事請負契約の締結 1件

① 町道粒ヶ谷地六戸線粒ヶ谷地橋樑補修工事

・(株)沢田建設

5852万円



### 審議の結果

全員賛成で可決

財産の取得 1件

① バ・オール陳列什器購入

・(株)文屋

3476万円

### 審議の結果

全員賛成で可決

## 第15回 令和7年12月 定例会

12月4日から9日までの6日間の会期で定例会が開催されました。

議決件数 28件			
原案可決	同意	承認	認定
28件	0件	0件	0件

### 町長提出案件

規約の変更 2件

① 青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び

青森県市町村総合事務組合規約の変更

② 青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更

【内容】  
・当該2組合それぞれの構成団体である黒石地区清掃施設組合が令和8年3月31日をもって解散することに伴い、組合を組織する地方公共団体数及び組合規約を変更するもの

### 【内容】

子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律による乳児等のための支援給付の創設に伴い、乳児等通園支援事業に係る基準を制定するもの

② 五戸町歯科口腔保健の推進に関する条例

### 【内容】

・歯科口腔保健の推進に関する基本理念を定め、町の責務等を明確にするとともに、町民の生涯にわたる健康の保持増進を目的として制定するもの

### 審議の結果

全員賛成で可決

条例の一部改正 15件

① 五戸町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

正

② 五戸町町長等の給与に関する条例の一部改正

③ 五戸町特別参事の設置及び給与等に関する条例の一部改正

### 例の一部改正

【内容①】③

・期末手当の支給割合を改めるもの

④ 五戸町議会議員及び五戸町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正

### 【内容】

・選挙運動の公営に要する経費の公営単価の一部改正に伴い、五戸町議会議員及び五戸町長の選挙における選挙運動の公営に要する経費の公営単価を改正するもの

⑤ 五戸町職員の給与に関する条例の一部改正

### 【内容】

・令和7年10月6日付け青森県人事委員会から出された、職員の給与等に関する報告及び勧告に基づき、職員の給料表及び期末手当、勤勉手当の支給割合を改めるもの

**⑥五戸町職員の特殊勤務手当支給に関する条例の一部改正**

【内容】

・常時勤務する職員で診療の業務に従事した医師の処遇改善を図ること及び、改正前の五戸町職員の特殊勤務手当支給に関する条例第3条の規定により支給した診療手当の遡及適用を図るもの

**⑦災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正**

【内容】

・関係法令の規定により、災害弔慰金及び災害障害見舞金の支給に関する事項を調査審議する、五戸町災害弔慰金等支給審査委員会を設置するもの

**⑧五戸町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正**

**⑨五戸町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例**

**の一部改正**

**⑩五戸町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正**

・各関係法令等の改正に伴い、所要の改正を行うもの

【内容⑧～⑩】

・各関係法令等の改正に伴い、所要の改正を行うもの

**⑪五戸町簡易水道事業給水条例の一部改正**

**⑫五戸町農業集落排水処理施設の設定及び管理に関する条例の一部改正**

**⑬五戸町下水道条例の一部改正**

【内容⑪～⑬】

・各事業経営の安定化を図るため、水道料及び使用料を改定するもの

**⑭五戸町斎場設置条例の一部改正**

【内容】

・斎場老朽化による修繕箇所が増及び、燃料等高騰による施設管理費増加のため、斎場使用料を改正するもの

**⑮五戸町学校給食条例の一部改正**

【内容】

・青森県学校給食費無償化等子育て支援市町村交付金の交付にあたり改正するもの

**審議の結果**

**全員賛成で可決**

**令和7年度補正予算9件**

**①一般会計補正予算(第3号)**

・補正額(増額) 8515万2千円

・予算総額(補正後) 110億2317万4千円

**【主な内容】**

・産直施設建設工事費 3300万円

・光ケーブル移設工事費負担金 136万7千円

・身体障がい者補装具費 100万円

・障がい児通所給付費 200万円

・乳幼児医療費給付費 650万円

・収入保険加入推進事業費補助金 144万円

・新規就農者育成総合対策事業費補助金 525万円

・鳥獣被害対策実施隊員報酬 118万円

・管内中学校施設改修工事費 138万6千円

・歴史みらいパーク指定管理料 128万7千円

**②後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)**

・補正額(増額) 5896万4千円

・予算総額(補正後) 5億9968万6千円

**③国民健康保険特別会計補正予算(第2号)**

・補正額(増額) 2億5099千円

・予算総額(補正後) 21億3443万2千円

**④介護保険特別会計補正予算(第2号)**

・補正額(増額) 7964万6千円

・予算総額(補正後) 25億5383万2千円

**⑤住宅用地造成事業等特別会計補正予算(第1号)**

・補正額(減額) △69万7千円

・予算総額(補正後) 70万3千円

**⑥ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第2号)**

・補正額(増額) 181万3千円

・予算総額(補正後) 3838万5千円

**⑦簡易水道事業会計補正予算(第1号)**

○収益的収入 2千円増

○収益的支出 7383万2千円

○収益的支出 28万5千円増

1億2543万6千円

**⑧下水道事業会計補正予算(第2号)**

○収益的支出 112万7千円増

4億4286万円

○資本的支出 1万4千円減の 3億3901万9千円

**⑨病院事業会計補正予算(第2号)**

○収益的収入 4億1171万2千円減

15億1522万9千円

○収益的支出 3965万1千円減

24億4892万6千円

○資本的収入 1678万4千円増

3億6643万7千円

○資本的支出 484万5千円増

4億3160万6千円

**審議の結果**

**全員賛成で可決**



12月定例会では4人の議員が一般質問を行いました。一般質問は、一般行政、教育、選挙、農地行政など町が行う行財政全般について質問できます。

## ◆五戸総合病院の経営改善を早急に

町長 青森県が示す方針を注視し、それに積極的にかかわりたい

### 質問要旨

五戸総合病院では医師の確保が思うように進まず、外来患者数の減少や外科手術数の減少などによる収益の減少により、厳しい経営を強いられている。

今後も医師不足が劇的に改善される見通しはない上、今いる常勤医の高齢化に伴う離職などが懸念される。医師不足による医療サービスの質の低下や財政負担を考えた場合、然るべき病院の在り方を早急に議論し対策を講じるべきである。

### 質問①

全身麻酔による外科手術が行われていないと聞くが原因は。

### 答 若宮町長

全身麻酔等で行う外科手術は外科医師が3名は必要だが、現在は院長の1名のみ。研修医などの協力により行っていたものの、外科を志望する研修医の減少により、今はそれもできない状況。

### 質問②

常勤医の産婦人科医はご高齢である。引退された後、産婦人科をどのように運営するか。

### 答 若宮町長

産婦人科の応援サポートを行っている派遣元の東北大学産婦人科医局では、当院の担当医師が勤務できるうちは続けるが、

引退後は派遣しないと言われている。

他の診療科のように、近隣医療機関に週に数日の応援医師を要請し、外来診療や健診などの業務を中心とした運営になると思われる。

出産については八戸市立市民病院周産期センターと連携し、健診は当院で、30週を経過しての出産は八戸市立市民病院周産期センターで行う体制を、引き続き構築したい。

### 質問③

5人いる常勤医のうち2名についても来年度には定年を迎える。

定年後、当院を去った場合、どのような懸念があるか。

### 答 上山総合病院事務局長

多くの弊害が懸念されるが、特に24時間の救急

搬送の受け入れ態勢を行えなくなることが考えられる。

### 質問④

去る10月15日、若宮町

長は宮下青森県知事に地域医療の支援を要望されたとのこと。どのようなやり取りをされ、それを受けて病院事業をどのように進めるか。

### 答 若宮町長

医師確保が思うように進まない中、早めに県主導で地域の病院の助けになつてもらいたいと要望した。

宮下青森県知事からは

「地域医療連携推進法人を拡大するという方向性で検討を進めている。内容が具体化してから詳細を示すが、県内医療全体に県が主体性と責任を持つて取り組む。」と返答があった。

青森県が示す方針を注視し、それに積極的にかかわっていききたい。

## ◆川内地区の小学校の統合について、通学の体制整備を十分にとるべき

教育長 特に小学校から遠くなる切谷内小学校区の手厚い体制をとる

### 質問要旨

令和9年4月の開校を目指し、切谷内小学校と上市川小学校の統合の準備が進められている。統合先の施設は現上市川小学校に決定したが、上市川小学校の施設の老朽化対策を統合までに終わらせることが望ましい。また、通学の体制整備を十分にとるべきである。

### 質問①

上市川小学校の施設改修計画は。

### 答 澤田教育長

現在、学校現場の要望や提案等を聞きながら事業費の試算を行っている。

老朽化対策は、外壁の補修、建具等の不具合箇所や雨漏りの修繕が必要。利便性の向上では、トイレの洋式化の推進、特別教室へのエアコンの設置、廊下から教室内を視認できるような窓や入口

の戸の改修を検討。

これらの改修には多額の事業費がかかるが、開校までに終わっておくべきものなどは精査し、開校前の完了を目指している。

### 質問②

通学の体制整備計画は。

### 答 澤田教育長

保護者アンケートを実施したり、川内地区小学校統合準備委員会において、バス事業者などを交えて議論したりして、児童にとってより良い通学方法を模索している。

準備委員会の中でも、特に小学校が遠くなる切谷内小学校区の児童の通学手段・体制について、十分手厚い体制をとるべきと意見があり、今後安全面への対策も含め十分、検討協議する。

# 一般質問



とよ た たか お  
豊田 孝夫 議員

## ◆県道233号浅水南部線の拡幅は

町長 道路の現状については町としても把握しており、  
県単独事業に位置づけて要望している

### 質問要旨

県道233号浅水南部線は浅水下部地区が特に道幅が狭く、大型車がすれ違う際に一方が停車せざるを得ない。  
また、この路線は浅水から豊川地区にかけて山砂採取場があり、大型ダンプカーの交通量も多く度々交通渋滞も起きている。地域住民からの要望も多く早急な対策が求められる。

### 質問①

県道の拡幅工事にはどのような手続が必要か。

### 答 若宮町長

道路管理者が県であるため、町との手続はないが、引き続き県に要望する。

### 質問②

拡幅のために立ち退きを余儀なくされた場合の代替地の取得、費用の負担は。

### 答 若宮町長

費用の負担については、住宅等の移転補償費として基準に基づき県が地権者へ補償する。代替地のあっせんは県では行っていない。



### 質問③

歩道の拡幅、段差の解消、斜め部分の平坦化などの整備は。

### 答 若宮町長

現地調査等を行い、道路の利用状況、沿道状況を踏まえて整備手法を検討する。

## ◆鳥獣被害、特にクマ・イノシシ対策は

町長 特に危険が伴う大型獣駆除の処遇改善  
に取り組む

### 質問要旨

全国的にクマによる被害が相次ぎ、青森県でも被害者数は8人に上っている。令和7年5月1日からのツキノワグマ出没警報が現在も継続中となっている。(12月31日をもって青森県は解除)  
については、害獣に対しどのような対策を取るかを伺う。

### 答 若宮町長

猟友会へ捕獲用のエサの提供や、狩猟者の練習のための射撃場使用料・訓練用弾代を補助。事故の補償は県市町村等非常勤職員の公務災害補償で対応。

隊員の報酬費は、大型獣のツキノワグマ・イノシシ・シカについては、

今年度のクマ・イノシシの捕獲、駆除頭数は。

### 答 若宮町長

クマの捕獲、駆除頭数は13頭、イノシシは6頭。

### 質問②

捕獲、駆除にかかる経費や報酬は。

### 答 若宮町長

「鳥獣保護管理法」により原則として禁止されている。人家の屋根裏や小屋への侵入など影響がある場合は、農林課職員と猟友会の隊員が現地確認を行い、わなの設置が必要となった場合に、猟友会が設置・管理を行う。

### 質問④

鳥獣被害防止、狩猟免許取得の経費補助は。

### 答 若宮町長

侵入防止の電柵などの対策には事業費の2分の1、上限5万円を補助。猟友会に所属し、捕獲活動に3年以上従事できることを条件に、狩猟免許取得の補助もしている。

### 質問③

個人でわなを設置する場合の注意点は。



かわさき しちひろ  
川崎 七洋 議員

## ◆五戸町の財政調整基金の減少に対する 来年度の予算編成の方針は？

町長 委託料や保守料などを削減し、  
事業費をしっかりと確保する

直近5年間の予算・財政調整基金残高の概数

決算年度	予算規模	うち自主財源	財政調整基金残高
令和2年度	116億 300万円	約23億円(20%)	19億9100万円
令和3年度	104億5600万円	約22億円(21%)	25億2100万円
令和4年度	100億7400万円	約22億円(22%)	27億9700万円
令和5年度	108億 700万円	約29億円(27%)	22億8900万円
令和6年度	112億7500万円	約29億円(26%)	15億7400万円

### 質問①

五戸町の財政状況の悪化が懸念されている。ここ2年ほど町の予算編成でも、五戸町の貯金と言える財政調整基金の取崩しが続いており、この状況が続くといずれ予算編成ができなくなると聞いている。

### 答 若宮町長

直近5年間の推移について回答する。(左表)  
令和8年度予算については各課に予算削減の指示を出しており、適正な予算編成をしていく。

町のこれまでの予算規模と財政調整基金の推移はどうなっているか。

### 質問②

財政調整基金の残高について今後の見通しは。

### 答 若宮町長

病院や下水道等の公営企業会計への繰出金のほか、老朽化した公共施設の維持修繕費など、一般財源で対応しなければならぬ経費が増加傾向にある。今後も厳しい財政状況が続く見通しであり、当面基金残高が増えることは考えにくい。

### 質問③

各課に対し、10%の予算削減を指示しているとお聞きしている。

厳しい財政状況にあっても必要な事業にはきちんと予算を付けていたいただきたい。こういった予算を削減していくとお考えであるのか。

### 答 若宮町長

削減については主に委託料や保守料などの経費の見直しを指示しており、

必要な事業にかかる費用についてはしっかりと予算を確保していきたい。

### 質問④

事業費を減らさない方針であれば、その事業による成果を最大化し、より高い効果を得ることが町を盛り上げ、結果として財政の助けになる道だと考えている。

そのための鍵になる事業の一つが「関係人口の創出」だと思われる。

今後どのように予算をつけていこうとお考えか。

### 答 寺尾総合政策課長補佐

平成30年に「このへみらい会議」として始まり、現在は「五戸まちづくりワールドカフェ」として継続している関係人口創出事業は、町内外から様々な人が集まり、対話し、仲間を見つけることで、町の中で新しいイベントを開催するなど着実に成果を上げている。



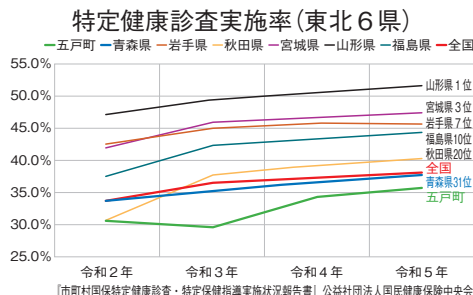
新年度に向けての予算については、予算額の増減の議論はしていないが、その時々に応じて必要と思われる予算を要求していきたいと考えている。

**要望**  
今の五戸には「五戸を盛り上げたい」という人がたくさんいる。しかし、この方々の横連携がうまく取れていないようにも見える。今何かやりたいと行動している人たちが、今後何かやりたいとくすぶっている人たちが掘り起こし、つなげていく作戦を今後ぜひご検討いただきたい。

# 一般質問



たかおく ひろあき  
高奥 浩明 議員



## ◆特定健康診断の受診状況について

町長 令和18年度特定健診受診率の目標60.0%

### 質問①

五戸町健康増進計画  
第2次の結果と第3次の  
施策は。

**答 若宮町長**  
第2次は最終年度である令和6年度に特定健診受診率60.0%を掲げ推進してきた結果、平成25年度受診率20.4%から令和5年度35.7%に上昇したものの、県平均37.8%にも及ばず、県内32位であった。  
第3次では令和18年度受診率目標を60.0%とし、受診しやすい環境の整備、インセンティブの提供、関係機関と連携し受診勧奨を行う。  
主要死亡原因別死者数上位は「がん」であり、がん検診の受診勧奨も併せて行う。  
年代別未受診者は、40代50代が75%以上、60代70代は67%以下と差が大きい。  
地区別では、浅田豊間内地区、倉石地区の未受診者が数ポイント高い。

### 質問②

定期的に医療機関で受診していれば特定健診を受診しなくてよいのか。

### 答 川村健康増進課長

9割以上の方は特定健診の代わりにならない。年1回の健診受診が重要。

### 質問③

受診率の増加が著しい、もしくは高い他自治体の施策は。

### 答 川村健康増進課長

秋田県は県と医師会が協力、定期的な医療機関の受診者にかかりつけ医から受診勧奨。  
田子町(56.9%)  
地区ごとに受診日を決め、集団検診を実施。  
鶴田町(50.4%)  
集団検診を実施の他に、がん検診を無償化。

## ◆再生可能エネルギーについて

町長 町の豊かな自然環境を未来の世代にも良好な状態で引き継ぐ

### 質問①

「青森県自然・地域と再生可能エネルギーとの共生に関する条例」の影響は。

### 答 若宮町長

県条例は地域に保護地域、保全地域、調整地域の区分を設け、保全地域と調整地域のうち、市町村が再生可能エネルギーの導入を促進する区域であって、地域との共生が図られると知事が認めた区域を共生区域とし、そこに施設を誘導する条例。

五戸町に保護地域はなく、保全地域、調整地域となっており、現時点で共生区域はない。  
太陽光発電の拡大が進む中で、自然環境の破壊、設備撤去の不安などの問題には町として強い関心を持っており、町の豊かな自然環境や景観を未来の世代にも良好な状態で引き継ぐ責務があると認識している。

### 質問②

寿命となった設備の廃棄・撤去に関する規則は。

### 答 中里総合政策課推進室長

県条例では、計画に将来的な施設の廃止、廃棄物の撤去・処理に対する記載が必要となっている。

### 質問③

県条例の対象となっていない小規模な施設に対する町独自の条例の必要性は。

### 答 中里総合政策課推進室長

県条例は太陽光発電2,000kw以上、風力発電500kw以上が対象。

### 要望

あらかじめ、耕作放棄地などに共生地区を設定して、戦略的に施設を誘導することを検討することを望む。



青森県自然・地域と再生可能エネルギーとの共生に関する条例について

# 県外行政調査研修

## 経済常任委員会

参会委員 委員長 大久保和夫 副委員長 三浦專治郎  
委員 佐々木喜克 委員 高奥 浩明  
委員 三浦 俊哉

研修期間 令和7年10月21日～23日（3日間）

### ■視察案件① 北海道安平町

#### 「オーガニックビレッジ宣言を行っている自治体の状況調査」

1人の農家から始まった有機農業、国の政策とも相まって北海道初のオーガニックビレッジ宣言を行うこととなりました。

町がオーガニックビレッジ宣言を行う理由については、農家と行政が検討を重ねて決め、その結果道外から約20名の親規就農者を呼び寄せることになりました。オーガニックビレッジ宣言を行った経緯から現状まで五戸町でも参考になる事例を学ぶことができました。



### ■視察案件② 北海道長沼町

#### 「地域おこし協力隊を活用した取組について」

平成27年度から始めた地域おこし協力隊の採用。しかし一日中役場業務を詰め込まれ、期間終了後の準備ができなかった隊員の定着率は、もくろみよりもかなり低かったそうです。原因を分析・対策して令和5年度から募集を再開。募集条件は厳しいものの、現在10名の隊員が活躍しており、最大15名までの採用を目指しています。

地域おこし協力隊を活用している本町にとっても参考となる事例を学ぶことができました。

### ■視察案件③ 北海道新篠津村

#### 「産直市場の運営等について・6次産業化の取組について」

今回の県外行政視察では、道の駅「しんしのつ」における6次産業化の取組や、宿泊施設「たっぷの湯」を核とした交流・滞在型観光の実践事例について理解を深めることができました。6次産業化の推進にあたっては、加工施設の整備や商品開発支援に加え、消費者ニーズを踏まえた価格設定やパッケージデザインの工夫が行われるなど、行政や関係団体が連携し、試作から販売までを段階的に支援する体制が取られており、産直施設の準備が進められている本町においても参考となる事例を学ぶことができました。



## 民生常任委員会

参会委員 委員長 鈴木 隆也 副委員長 柏田 匡智  
委員 川村 浩昭 委員 中川原賢治

研修期間 令和7年10月22日～24日（3日間）

### ■視察案件①

#### 三重県東員町「健康サポートサービス事業に係る取組」

東員町では、住民主体の介護予防・フレイル予防の取組を進めていました。<sup>\*</sup>フレイル予防サポーターというボランティアを組織し、要介護認定となる前にフレイルの早期発見・対応をしており、住民参加型のやりがい・生きがいづくりに取り組んでいました。

また、東京大学と共同開発で、電力使用データからフレイルを検知するAIを開発し、生命保険会社と地域包括支援センターの職員が単身高齢者世帯を訪問して、官民連携で健康状態確認・健康増進につながる情報伝達を行っていました。



#### ＊【フレイル】

加齢により心身機能が低下した状態で介護が必要となる手前の状態

### ■視察案件②

#### 静岡県森町「公立森町病院の取組」

公立森町病院では、隣接する森町訪問看護ステーション・森町家庭医療クリニックのほか、周辺病院や介護福祉施設と連携し、住民が安心して暮らせる医療提供体制を構築していました。院長が「大病院のミニチュア版ではない、森町病院でしかできない医療を提供していきたい」と力説していたことが大変印象に残りました。

また、病院の経営状況に理解を持ってもらったり、在宅医療の重要性を理解してもらったりするために、院長自らが月に一回、森町内各戸に配布された無線機を利用し広報を行っていました。



# 所管事務調査

町政の課題把握・解決に向けて、各常任委員会が管轄する分野の取組についての調査を行いました。

## 経済常任委員会

参会委員 委員長 大久保和夫 副委員長 三浦專治郎  
委員 高奥 浩明 委員 三浦 俊哉

令和7年10月10日実施

### ◆産直施設の進捗状況等を調査

令和8年9月オープンに向けて準備が進められている産直施設「バ・オール」について、工事の進捗状況や施設の概要、加入者数、販売商品の種類など、現在の状況を担当課からお話を伺いました。

### ◆町道下タノ沢頭4号線道路改良工事、町道中ノ沢線道路改良工事を調査

町では計画的に道路改良工事や修繕工事などを行っています。今年度工事を行った2路線について現地調査を行いました。また、道路の不具合箇所を写真で通報できる国土交通省のLINE通報アプリについても説明を受けました。



### ◆ごのへアアップるちゃれんじ事業を調査

りんご等の改植・新植事業費や栽培管理経費について国の補助事業に上乗せして補助するという事業で、対象は高密植等で植栽し将来的にスマート農業に通じるものに限られます。今後この事業により、農業者の労働環境改善や町のりんご生産量、ふるさと納税額の増加につなげていきたいということです。

### ◆歴史みらいパーク噴水広場を調査

町民の交流拠点として整備されていた歴史みらいパークの噴水広場の改修工事が終了しました。ドライ噴水やミストなど数パターンの噴水があり、今後子どもたちでにぎわう場所となっていくそうです。



## 民生常任委員会

参会委員 委員長 鈴木 隆也 副委員長 柏田 匡智  
委員 川村 浩昭 委員 中川原賢治

令和7年10月29日実施

### ◆倉石温泉とデイサービスセンターくらいし温泉の運営を調査

昨年営業を再開した倉石温泉と、10月1日に開設したデイサービスセンターくらいし温泉を現地調査し、運営する東北医療福祉事業協同組合(SGグループ)からお話を伺いました。

それぞれの利用者数の状況や、「カマラードの家」・「ふるさとの家」などの地域の施設との連携計画、今後の展望についてお話を聞くことができました。



### ◆五戸総合病院の運営を調査

五戸総合病院の運営と今後について調査し、今年度の経営状況や不足する医師の確保について、院長と事務局長からお話を伺いました。

特に医師不足については、地域的な医師の偏在により、病院だけの努力では解決が難しいという現状を知ることができました。



# 五戸中学校出前意見交換会

五戸町の将来を担う子どもたちに町政について関心を持っていただきたく、五戸町議会広報常任委員会に所属する議員が五戸中学校で出前意見交換会を行いました。

生徒の皆さんには事前に「現状、私たちが感じる課題」や「提案・質問」を考えていただき、当日に生徒と議員が意見交換を行いました。

## 五戸中学校

3年1組・3年2組の

皆さんに参加して

いただきました！

(令和7年11月27日実施)

### 主な意見・質問と議員の回答



◆生徒：教育・子育て支援の拡充のため、おむつ代など係る費用を無料にしては。

川崎：出産一時金や夫婦の家賃補助など実はいろいろやっている。時代に合わせて今後も考えていく。

◆生徒：医師の減少に対する対策は。

柏田：五戸総合病院医師確保のため、全国の登録医師とのマッチング支援サービスの活用や、多くの派遣・応援医師に御協力頂き、医師確保に努めている。

◆生徒：修学旅行費補助の実施予定は。

佐々木：「現段階での実施は困難である」との答弁が9月定例会において示されたが、今後も引き続き実施を求めている。

◆生徒：五戸町の老人ホームに待機者はいるか。

高奥：低料金で利用できる地域密着型特別養護老人ホームでは、80名ほど待機している。

◆生徒：令和6年度の商工費の主な使い道は。

豊田：五戸まつりや各イベント、プレミアム商品券の資金などに使用している。

## ～出前意見交換会を終えて～



川崎 七 洋 議員  
(広報常任委員長)

町のことをよく調べ、何が課題かを理解してくれていることが伝わりました。中学生だからこそ見える課題も教えてもらえたので、こちらも大変勉強になりました。ありがとうございました。



豊田 孝 夫 議員  
(広報常任副委員長)

中学生の提案を見ると、現状を分析した上で、対応策を考えているという点ではなかなか鋭いと感じ入りました。改めて行政の場でも課題に対して取り組まなければと、思いを新たにしました。



佐々木 喜 克 議員  
(広報常任委員)

自分たちが考えたテーマ、課題に対し純粋にそして真摯に向き合っていて、一人一人が主体的に考え、行動しようとする姿勢が感じられ、今後の町づくりや政策検討につなげていくべき貴重な意見であると感じました。



高奥 浩 明 議員  
(広報常任委員)

すぐに答えが出る質問、簡単には答えが出せない質問など、五戸町について中学生と一緒に考える良い時間でした。これからも町・行政に関心を持ち続けてもらえればと思います。



柏田 匡 智 議員  
(広報常任委員)

自分も中学三年生の親であり、生徒の皆さんと親しく意見交換できました。特に地域医療・人口減少問題のような大人でも正解がなかなか出せない課題に対し、取り組む姿勢が素晴らしかったです。



倉石中学校との出前意見交換会も予定しておりましたが、インフルエンザによる学年閉鎖のため実施できませんでした。



## 川内中学校議会傍聴



12月8日に開催された五戸町議会第15回定例会一般質問に、川内中学校2年生の皆さん21名が傍聴に来てくれました。

午後からの傍聴でしたが、川崎議員と高奥議員の一般質問が行われる中、気づいたことなどをメモしながら静かに傍聴されていました。

今回の議会傍聴をとおして、町政や町議会への興味・関心につながってくると幸いです。



### 議会傍聴をしてみたの感想を一部紹介させていただきます

町のためにたくさんの人の意見がぶつかり合ってよりよいものになっていることがわかりました。難しい質問もお金やいろんな問題に対応した答えを出せるのが本当にすごいと思いました。町民一人一人が住みやすい町になるようにすごく考えられていてうれしかったです。私も五戸町に住んでいるのに、知らなかったことや想像したこともなかった町の課題が多くあって驚きました。特に心に残っているのは、高奥浩明さんの五戸町の再生可能エネルギーについての質問です。使われていない地域を発電に使うのか、五戸町にとってのメリット・デメリットなどを考えて、どの答えが最善なのか考えるのが面白かったです。

五戸町議会を傍聴して、ふだんの生活では簡単に見ることのできない貴重な議論を知ることができてよかったです。議員の人たちが意見を述べたり、質問したりしていて、見ていて感動しました。五戸町の議会の様子をテレビで放送していることは知っていたけれど見たことがなかったので、実際に傍聴人という立場で見るのは新鮮でした。特に印象に残ったのは、1つの質問事項についてもいろいろな意見があるということです。議員の方々一人一人が同じというわけではないけど、五戸町のことを思い発言していることがわかりました。五戸町議会を傍聴した経験をこれからの生活で生かしていきたいと思います。

議会を傍聴してわかったこと

一人の町民として町を活性化させていきたいと思います。町を活性化させるために、地域の祭やイベントに参加し、町を盛り上げていく必要があると思いました。また、五戸町の一員として自覚をもって活動していきたいです。

がん検診については、若い世代からがん検診についての重要さを発信し、広い世代に興味・関心を集める必要があると考えました。なので、私たちから家族にがん検診を勧め、そこから多くの人々にがんの怖さを伝えていかなければならないと思いました。

再生可能エネルギーの施設も、増やしていった方が今後の五戸町のためになるのではないかと考えたけれど、処分の仕方に問題が生じることがわかりました。処分の仕方をよく考えながら、エネルギー問題について考えていく必要があると思いました。

町の一員としてできることをして、将来の五戸町を支えられるようにしたいです。

私は、これからの五戸町を子どもから大人まで誰もが安心して暮らせる町にしていきたいと思っています。今住んでいるこの町には、自然や伝統、優しい人たちなど、よいところがたくさんあります。その魅力を大切にしながら、もっと若い人たちがここで暮らしたいと思えるような場所にしていきたいです。

そのために、私たち中学生の声も町づくりにしっかり届いてほしいし、自分でもできることがあれば積極的に参加したいと思います。五戸町の未来をつくるのは大人だけではなく、私たち一人一人だと感じています。小さなことでも、自分にできることから始めて、みんなが笑顔になれる五戸町にしていきたいです。

五戸町民の一人として、今後どのようにしていきたいか

紹介しきれませんでしたが、たくさんの素晴らしいご感想・ご意見をいただきありがとうございました。

## 正副議長・各種常任委員長・議会運営委員長・事務局長研修会

令和7年10月21日、青森県町村議会議長会主催の正副議長・各種常任委員長・議会運営委員長・事務局長研修会に五戸町議会から、議長、副議長、各常任委員会委員長ら5名が出席しました。

**講演** 「今日の議員報酬・定数の考え方の実現する手法

『住民自治の根幹』としての議会を作動させるために」

**講師** 大正大学 社会共生学部公共政策学科 教授 江藤 俊昭 氏



## 第33回連携中枢都市圏の形成に関する講演会

令和7年11月10日、おいらせ町での八戸圏域連携中枢都市圏形成促進議員連盟主催による講演会に議員10名が参加し、地域の交通政策について話を伺いました。

**講演** 「『選ばれる』地方都市圏に求められる地域交通戦略」

**講師** 福島大学 経済経営学類 教授 吉田 樹 氏



## 三戸郡町村議会議員研修会

令和7年11月20日、五戸町において三戸郡内の町村議会議員が集まる三戸郡町村議会議員研修会が開催され、五戸町議会議員は14名が出席しました。

**講演** 「三戸郡の文化財と文化財保護について」

**講師** 五戸町教育委員会 教育課 課長補佐 村本 恵一郎 氏



## 編集後記

昨年の「今年の漢字」は「熊」でした。クマによる人的被害は230件を上回り、過去10年間で最も多く、毎日のようにニュースに取り上げられていました。そう言えば干支にはクマがいまませんが、なぜでしょうか。もしかしたら凶暴性を発揮して存在を知らしめるため、または十二支に選ばれなかったことに対する嫉妬のためだったのでしょうか。

今年は、午(馬)年で五戸町に縁の深い干支でもあります。何と言っても「馬肉は五戸」です。かつてサッカード、桜肉、坂の町のイニシャルで3Sの町としてうたわれていました。

今年10月開催の国スポでもサッカー会場として使われ、名をあげるチャンス到来です。  
午(馬)年にあやかり全てがうまく行く年になることを祈ります。

副委員長 豊田 孝夫

## 議会を傍聴してみませんか

3月定例会は3月上旬開会予定です。  
日程が決まりしだい「五戸ちゃんねる」、  
五戸町ホームページでもお知らせします。  
(お知らせは2月下旬頃の見込みです)



詳しくは議会事務局へ〔TEL 62-2111(代表)〕

## 広報常任委員会

委員長	川崎 七洋
副委員長	豊田 孝夫
委員	佐々木 喜克
委員	高奥 浩明
委員	柏田 匡智
委員	鈴木 隆也
発行責任者	議長 長川 村浩昭
令和8年1月23日発行	